

『庄内っこ日和』

令和3年2月1日
庄内こどもの幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。
この『庄内っこ日和』は、昨年度から掲示用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする“ドキュメンテーション”です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。

今回は、もも組もりのこっこ（冬）の様子を配信したいと思います。今回は2名のお母さん、お父さんに保育ボランティアで参加して頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回のもりのこっこのねらい：保育者や他児と一緒に自然の中を散策し発見を楽しむ

当幼稚園の「もりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っています。（庄内の保育の根っこp37参照）

庄内の保育の根っこ



もりのこっこもも（冬）

①まずは散策の準備

服部緑地公園到着



服部緑地公園に到着したもも組の子ども達。わくわくしながら近くの森まで歩きました。
赤・青の2グループに分かれて散策をしました。
園としても、初めての2歳児が公園内を散策します。
どんな発見をするのか楽しみです。
別コースを10分程歩いて、2グループ合流しました。



散策用に袋をもらいました。

2グループに分かれて散策開始

②教えてないのに・・・

2グループに分かれて、散策開始。子ども達は【教えてないのに】色んなことに気が付きます。

枝が分かれているのを見て、「見て。ひっかけとくねん。」と自分の荷物を木の枝の真ん中に置いたり、木に穴が空いていることに気が付き、「穴がたくさん」と言いながら人差し指を穴に突っ込み、穴の深さや感触を探っていました。「木から何か聞こえるかな？」と先生と一緒に木に耳を当てて音を感じる子どももいました。

【教える】ではなく、【一緒に自然を感じる】ことが大切だと、子ども達や保育参加の保護者の方々、担任の先生から改めて気付かせてもらえました。



服部緑地公園で自然あそび

③汚れた分だけ、心はきれいに

自然の中で思いっきり遊ぶ子ども達。ふとしたきっかけで、落ち葉で体を埋めるあそびが始まりました。もちろん服はどろどろに。
そんな時、「次やってみよう。」という気持ちが芽生え、自然と順番を待ったり、顔にはかからないようにしたりと友達を思う様子がありました。

「服が汚れた分だけ、心はきれい」になっていく子ども達でした。

